

ICT 活用を推進する校内組織の立ち上げと 開発した授業活用例の「定期的な校内共有」

C:教員間の情報共有

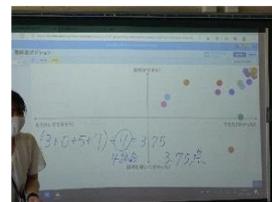
このような教員の姿が生まれました！

- 全ての授業において、児童も教員も ICT 端末が学習用具の一つになりました。
- 資質・能力の育成に向けて、授業改善を進めることができました。

「情報部」を中心に授業活用例を教員に共有

教員研修やプチ講座の実施

- ・本時に使用する資料を配付し、必要に応じて活用できるヒントボックスなどを作成しながら、児童一人一人がじっくりと追究できるようにするために活用アイデアを出し合う。
- ・ポジショニング機能を活用しながら、児童の理解状況を把握できるような活用例を紹介する。
- ・各学年に応じた活用例をプチ講座で紹介する。
- ・作成した資料は、いつでも閲覧できるように教員で共有する。



ICT 活用推進担当の指導のポイント

- 少人数での部会（研修）のよさを生かし、実際にその場で端末を操作しながら活用方法を伝えたり、アイデアを交流したりする。

校内共有したことを生かした実践



5年生 教室

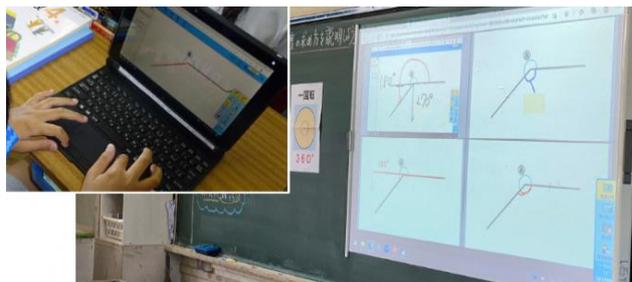
特別支援学級 教室

コロナ禍における授業の工夫

- ・感染予防のため、交流学級の授業を中止した。協働学習支援ツールを活用して2クラス同時に指導した。SKYMENU で学習教材を共有したり、Teams で意見交流をしたりとツールを使い分けながら学習を進めることができた。

協働学習支援ツールを活用した授業づくり

- ・「発表ノート」の機能を活用して、児童が自己の考えをまとめたり整理したりする。
- ・学級全員の「発表ノート」を画面一覧にすることで、全員の考えをもとに、比較・検討をする。
- ・提出された「発表ノート」をもとにして、学習評価に生かすことができるようにする。



ICT 活用推進担当の指導のポイント

- 予備機を活用し、配信用・学習支援アプリ用の端末をそれぞれ準備したり、ウェブカメラを利用したりするなど、より効果的にオンラインでの授業を進め、職員間で検証できるように助言する。